

## 序論

各国の言語は各自のユニークさがあり、日本語はユニークな特性を持っている。一つの例としては、「ところ」と「ばかり」の使い方である。「ところ」と「ばかり」はほとんど似ているが、違う意味を持っている。

日本語では、「ところ」と「ばかり」は単独で使うことはできない為、「形式名詞」のクラスに付属している。講談社(1994、552)の「日本語学習使い分け辞典」によると、「ところ」の意味は次の通りである。

～「ところ」というのはものごとが行われたすぐ後である、ということを表すとき使います。「たった今、今、ちょうど」を いっしょに使うことが多いです。そのことが行われた場所から、そうはなれては いないという感じを含みません。

上記の説明の中から、「ところ」は「もの事が行われたすぐ後」を示す為に使うことが分かる。そして、通常は、時間の説明として「たった今」、「今」 および「ちょうど」の後にいっしょに使うことが多い。

ところが、「講談社」(1994、551)によると、「ばかり」の意味は 以下の通りである。

～「たばかり」というのはものごとが行われてから、あまり時間が経っていないということを表すとき使います。「さっき。今。たった今。3 日前に。先月……」など過去のある時を指す語をいっしょに使うことがあり、「～たばかりだから～だ」という意味が、かくされている感じがあります。

上記の説明の中から「ばかり」は「もの事が行われてから、あまり時間が経っていない」ということを表す表現である。また、時間の説明として、使われる言葉は「先」、「今」、「たった今」、「3日前に」又は「先月」等々。

次の例文を考えてみよう。

## 本論

### 1. (4) 今帰ってきたところだ。(AH:160:2004)

上記の例文(データ4)は主語、述語、そして時間の説明から構成されている為、単文と呼ばれる。その文の主語は(私)を表示されず、「今」は時間の説明として役に立つ。述語の部分に「た」形の動詞に「ところ」をくっ付けて、助動詞「だ」によって終了される。

上記の例文は、文法的に意味することは「主語(私)はちょうど今、帰って来た」と説明した。その文は、「第三者人に(自分)から述べる表現」である。

「今」(時間の説明)に基づいて、「た」+「ところ」は「た」+「ばかり」に入れ替えられることができる。「今」の言葉は「そのものが、つい先、発生した」と目印として役に立つ。

「たところ」は、「帰る」の客観性を強調しているが、もし [ばかり] に入れ替えれば、その[ばかり]に含まれている「今」は主観性を強調する。つまり、話者は、「時間が短く起きている」という感覚を強調する。

## 結論

日本語の文構造と意味に基づいて、形式名詞の「ところ」と「ばかり」の使い方を分析した結果、下記のような結論を得ることができる。

文構造	意味
V-る + ところ “ <i>v-ru tokoro</i> ”	物事・何かをすること

V-ている + ところ “ <i>v-te iru tokoro</i> ”	物事・何かをしていること
V-た + ところ “ <i>v-ta tokoro</i> ”	物事・何かをしたことと客観性を重視すること
V-た + ばかり “ <i>bakari</i> ”	物事・何かをしたことと主観性を重視すること

## DAFTAR ISI

Kata pengantar.....	i
Daftar isi.....	iv
BAB I : Pendahuluan	
1.1 Latar Belakang.....	1
1.2 Rumusan Masalah.....	7
1.3 Tujuan Penelitian.....	7
1.4 Metode Penelitian dan Teknik Penelitian.....	7
1.5 Organisasi Penulisan.....	9
BAB II : Kajian Teori	
2.1 Sintaksis.....	11
2.2 Semantik.....	15
2.2.1 Makna Leksikal.....	16
2.2.2 Makna Gramatikal.....	17
2.3 <i>Tokoro</i> ~ところ.....	18
2.4 <i>Bakari</i> ~ばかり.....	20
BAB III : Analisis <i>ところ</i> dan <i>ばかり</i> Pada Kalimat Bahasa Jepang	
3.1 V - る “ <i>ru</i> ” + <i>ところ</i> “ <i>tokoro</i> ”.....	24
3.2 V-ている “ <i>te iru</i> ” + <i>ところ</i> “ <i>tokoro</i> ”.....	27
3.3 V-た “ <i>ta</i> ” + <i>ところ</i> “ <i>tokoro</i> ”.....	33
3.4 V-た “ <i>ta</i> ” + <i>ばかり</i> “ <i>bakari</i> ”.....	38

BAB IV : Kesimpulan .....	49
DAFTAR PUSTAKA .....	vi
LAMPIRAN I .....	viii
LAMPIRAN II .....	xviii
SINOPSIS .....	xxviii
RIWAYAT HIDUP.....	xxxii